

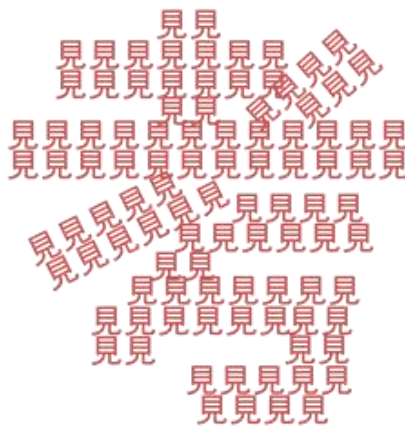
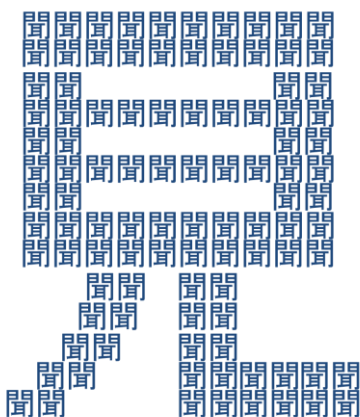


ひゃくぶん いっけん し
百聞は一見に如かず

百聞は一見に如かずという＝他人から百回聞くよりも、たった一度でも自分の目で見たほうが確かだということ。その続きがある。

百聞不如一見	ひゃくぶん いっけん 百聞は一見にしかず	人から百回聞くよりも自分で一回見た方が理解が速く正確だ。何ごとも自分の目で見て確かめるべきだ
百見不如一考	ひゃくけん いっこう 百見は一考にしかず	いくら自分でたくさん見ても考えなければ意味が無い
百考不如一行	ひゃくこう いっこう 百考は一行にしかず	いくらたくさん考えても、それを実行に移さなくては意味が無い
百行不如一果	ひゃくこう いっか 百行は一果にしかず	いくら実行に移しても成果をあげなくては意味が無い
百果不如一幸	ひゃくこく いっこう 百果は一幸にしかず	成果をあげるだけでなく、それが幸せや喜びにつながらなければならない
百幸不如一皇	ひゃくこう いっこう 百幸は一皇にしかず	自分だけでなく、みんなの幸せを考えることが大事

聞 < 見 < 考 < 行 < 果 < 幸 < 皇




一見の中に百聞が見えますか？ 一考の中に百見が見えます 一行に百考が行列しています


I hear, I forget. (聞いたことは忘れる) I see, I remember. (見たことは思い出す)
I do, I understand. (体験したことは理解する) I find, I use. (気づいたことは使える)

「聞くと見るとは大違い」「聞いて極楽、見て地獄」「聞いてビックリ、見てガッカリ」
「聞いて千金(千両) 見て一毛(一文)」

見聞を広げてみました

「きく」「みる」と同じ発音に聞こえても、漢字で書いて見ると違う「きく」「みる」がある。他人のみ方、きき方にもいろいろある。他人に物事を伝えるには、どうしたら、良く視ていただくか、聴いていただくか、工夫が必要だ。

き く	意 味
聞 く 	自然と耳に入ってくる音を聞く（受動的） 例）物音を聞く、サイレンを聞く、雨音を聞く hear
聴 く	身を入れて聴く（積極的） 例）名曲を聴く、事情を聴く、国民の声を聴く、耳を清まして聴く listen
訊 く	尋ねる（能動的） 例）先生に訊く、人に名前を訊く、通行人に道を訊く、容疑者にアリバイを訊く ask
効 く	効き目がある。効果がある。 例）薬が効く、宣伝が効く、風刺が効く
利 く	役に立つ。機能。 例）左手が利く、鼻が利く、口を利く、気が利く、機転が利く 喇き酒（ききざけ）

み る	意 味
見 る 	一般的に目に入る様子を見る。 夢を見る、様子を見る、銚子を見る、事態を重く見る See Seeing is beliveing
視 る	より注意して視線を注ぐ、目を止めてジッと視る、ハッキリと視る。 例）被災地を視る 視察 Look
観 る	念をいれてものを見るとか、ぐるりと見回す。 例）芝居・映画を観る、手相を観る 観劇、観光 Watch
看 る	看護を目的として世話をする。悪い事態にならないよう、気を配る。 例）孫の面倒を看る。看病
診 る	医療上の「診察」を目的として診る。 例）患者を診る、脈を診る 診察



男の人は聞いたことが、左の耳から右の耳に抜ける。
 女の人は両方の耳から入って、口から抜ける。

